

# 海洋観光の産業規模及び 国民アンケート調査結果

---

平成26年2月24日

# 1. 我が国の海洋観光産業規模

- 我が国の海洋観光産業規模を試算すると、約4.0兆円の売上となる(2011年)。
- これは、我が国の観光産業規模全体(約22.4兆円)の17.7%である。
- 政令指定都市を除く地方部(約3.1兆円)に着目すると、宿泊業の観光割合が54.0%と高くなっていることから、地方部における海洋観光の重要性がみてとれる。

※観光割合とは、事業所の売上全体に占める観光客による売上の割合

## 海洋観光産業規模の試算

### <基礎データ>

観光地域経済調査(観光庁)(2011年)

### <試算の方法>

○業種別の事業所当たり観光売上額をベースに、沿岸観光地域(海洋に面した観光地域)における観光売上を試算

(海洋観光産業規模)

= (沿岸観光地域の観光売上計)

= { (沿岸観光地域の観光産業事業所数)  
× (沿岸観光地域の事業所当たり観光売上) }

※事業所当たり観光売上は、観光地域経済調査の調査対象となった沿岸観光地域(全国166地域)の回答より算出

※観光売上は着地である地域に計上されるもののみとした(幹線交通の売上、旅行業の売上は除く)

### <試算結果>

	全国	観光地域 (着地ベース)	沿岸地域		
			うち政令指定都市	その他	
事業所数(万事業所)	158.1	115.7	46.3	8.2	38.2
観光売上(兆円)	22.4	9.7	4.0	0.9	3.1
構成比	100.0%	43.4%	17.7%	3.8%	13.9%
参考 宿泊業の観光割合	—	45.1%	48.4%	26.2%	54.0%

### 日本の観光産業規模

22.4兆円、158万事業所

### 観光地域の観光売上

(着地ベース)

9.7兆円、116万事業所

### 海洋観光産業規模

4.0兆円、46万事業所

### うち地方部

(政令指定都市除く)

3.1兆円、38万事業所

着地ベース:【その地域を訪問した観光客による売上(宿泊費、飲食費、レジャー施設利用料などの支出)】

発地ベース:【その地域の住民による売上(旅行商品の購入、幹線交通費などの支出)】

# 1.【参考】海洋観光産業規模を算出した沿岸観光地域 国土交通省

○海洋観光産業規模算出の対象とした沿岸観光地域は、全国で1,413観光地域である。

(市町村の区域界より細かい地域割りとなっている)

⇒右図の青く塗られた部分に対応

○これは、全国の観光地域(5,861地域、)の1/4にあたる。

○なお、政令指定都市を除く地方部における沿岸観光地域は全国で1,358観光地域である。

※観光地域とは、昭和25年大合併前の旧市町村(全国約11,000)のうち観光地点が存在する地域

## 沿岸観光地域 —全国1,413観光地域—

■沿岸観光地域 : 1,413

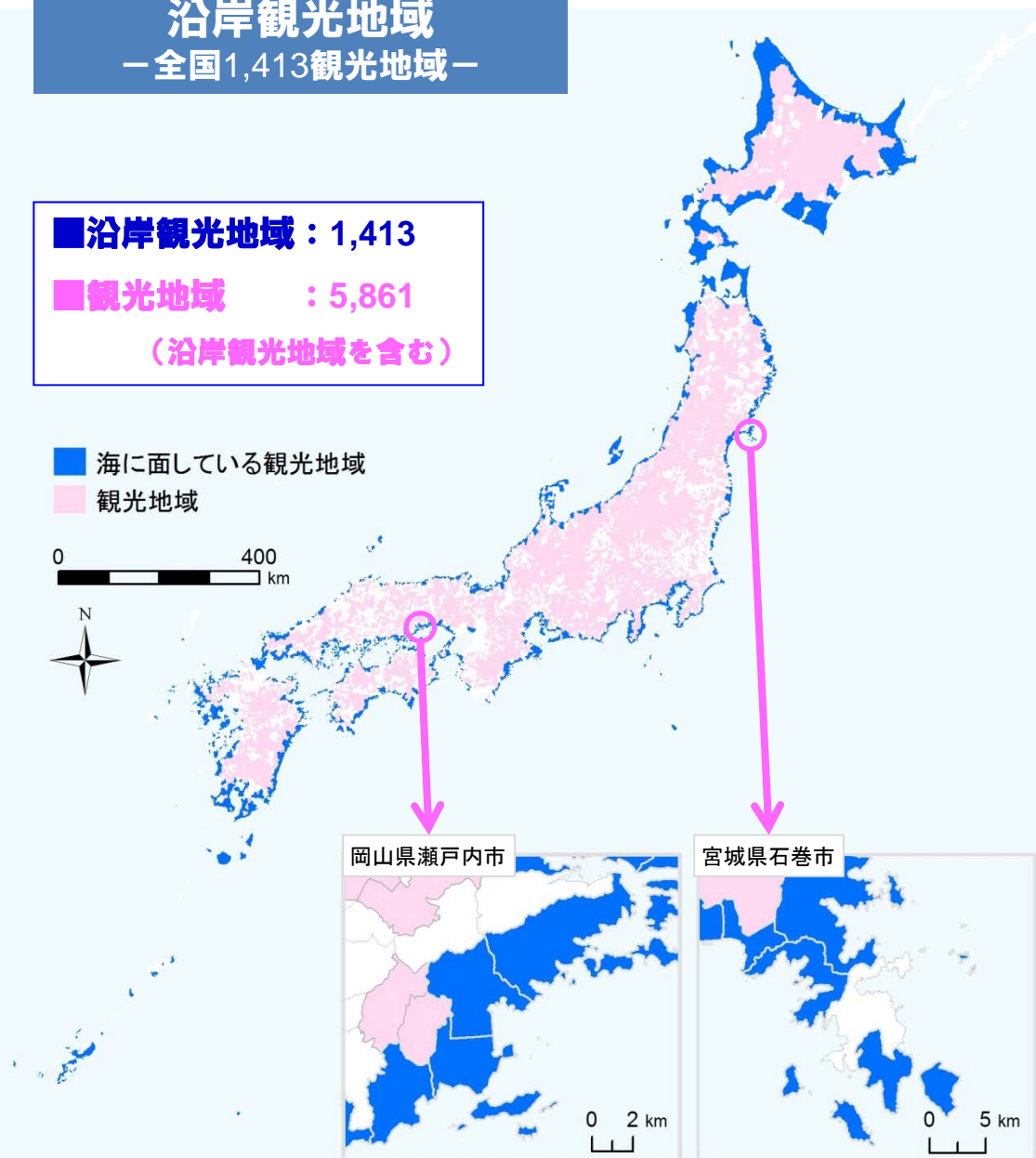
■観光地域 : 5,861

(沿岸観光地域を含む)

■ 海に面している観光地域

■ 観光地域

0 400 km



## 2. 我が国船社が運航するクルーズ

- 我が国船社が運航する外航クルーズ船は、2014年2月時点で飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなすの3隻。
- 我が国船社のクルーズ船乗客数の推移は、1995年を境に減少傾向にあったが、リーマンショック後は緩やかな増加傾向にある。

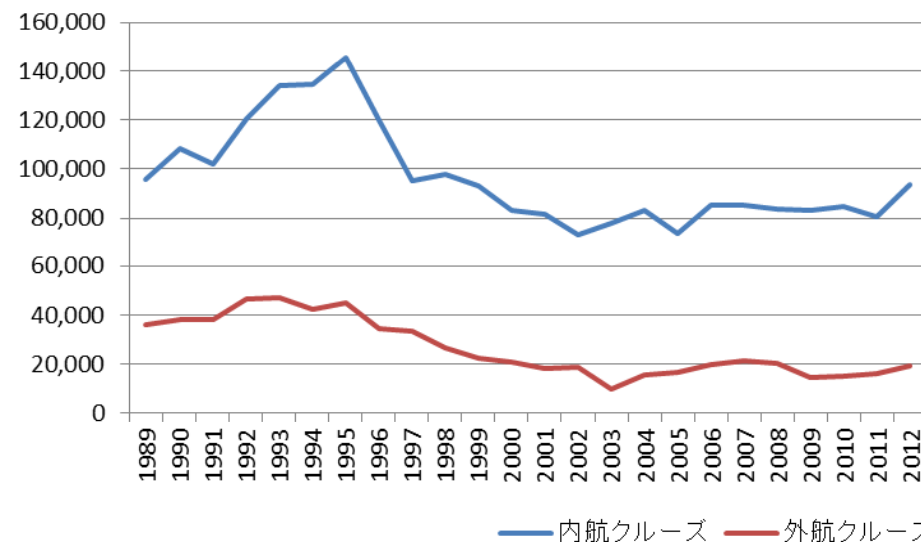
### 我が国船社が運航する外航クルーズ船

	飛鳥Ⅱ	にっぽん丸	ぱしふいっくびいなす
運行会社	郵船クルーズ(株)	商船三井客船(株)	日本クルーズ客船(株)
客室数	436室(全室海側)	202室	238室
乗客数 (ツインベース)	872名	398名	476名
乗組員数	約470名	230名	220名
乗組員1人当たりの乗客数	1.9人	1.7人	2.2人
船籍	日本	日本	日本
建造年	1990年(2006年改装)	1990年(2010年改装)	1998年
総トン数	50,142総トン	22,472総トン	26,594総トン
全長	241m	166.6m	183.4m
全幅	29.6m	24.0m	25.0m
喫水	7.5m	6.6m	6.5m
航海速力	23ノット(最大)	18ノット(最大)	18.5ノット
デッキ数	12層 (乗客スペース8層)	9層 (乗客スペース7層)	12層 (乗客スペース8層)

日本船籍はふじ丸を含む4隻であったが、ふじ丸は2013年6月で引退。  
現在は上記3隻のみが就航。

※日本外航客船協会HPより抜粋

### 我が国船社クルーズ船の乗客数の推移



外航クルーズ...乗船地、下船地及び寄港地のいずれかに海外が含まれるもの。  
国内クルーズ...乗船地、下船地及び寄港地の全てが日本国内であるもの。

※国土交通省海事局資料より作成

## 2. 我が国のクルーズ市場規模

○我が国船社が運航する外航クルーズ船(飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなす)によるクルーズ市場規模は、クルーズ船の乗船率を60%から80%と仮定した場合、1年間あたり、約130~173億円と推計される。(外国船社によるクルーズは含まれない。)

※乗船率は、【 実際に乗船した(と仮定する)乗客数 / 乗船することが可能な最大乗客数(1部屋あたり2人で計算) 】として計算。

※※市場規模は2013年出発のクルーズ商品の価格構成(1泊あたりのクルーズ料金)や客室クラス別の販売数を基に計算。

### 我が国船社のクルーズ市場推計方法

① 2014年2月末時点で就航している3隻を対象とし、料金分布により販売客室を3つのクラスに分類した。

我が国船社のクルーズ船における販売客室(料金による分類)

	飛鳥Ⅱ		にっぽん丸		ぱしふいっくびいなす	
クラス1*	Sロイヤルスイート	4室	グランドスイート	2室	ロイヤルスイート	4室
クラス2**	Aアスカスイート、Cスイート	54室	ビスタスイート、ジュニアスイート、デラックスシングル・ツイン・ベランダ	33室	スイートルーム、デラックスルーム	36室
クラス3***	DTリプル、Dバルコニー、Eバルコニー、Eステート、Fステート、Kステート	342室	コンフォートステート、スーパーリアステート、スタンダードステート	165室	ステートルーム	198室

\* クラス1は1泊あたり料金が、「1泊あたり最大料金」となる客室。

\*\* クラス2は1泊あたり料金が、「1泊あたり最大料金と最小料金の中間程度」となる客室。

\*\*\* クラス3は1泊あたり料金が、「1泊あたり最小料金程度」となる客室。

※船社HP、日本外航客船協会HPを参考に作成

我が国クルーズ船社(3社)が運航する商品のうち、2013年4月~2014年3月末の旅行程分の1泊あたりの最大料金と最小料金。

1泊あたり最大料金	1泊あたり最小料金
191,389円	39,310円

※船社HP、日本外航客船協会HPを参考に作成

② 我が国クルーズ船社(3社)が運航する商品のうち、2013年4月~2014年3月末の旅行程分を対象に、船ごとに下記のとおり3つクラスに分類して市場規模を算出し、その合計によりクルーズ市場規模を算出した。

① 泊数合計(泊)	×	②-1 クラス1乗客数(人)	×	③ 乗船率(%)	×	④-1 1泊あたり最大料金(円/泊)
		②-2 クラス2乗客数(人)				④-2 1泊あたり中間料金(円/泊)
		②-3 クラス3乗客数(人)				④-3 1泊あたり最小料金(円/泊)

※ ①「泊数合計(泊)」は、クルーズ船社各社が発行している商品パンフレット等より、対象期間内(1年間)の泊数合計(宿泊を伴う航行日数の合計)を計算。

※ ②各部屋の乗客数はツインベース(1部屋あたり2人)として計算。

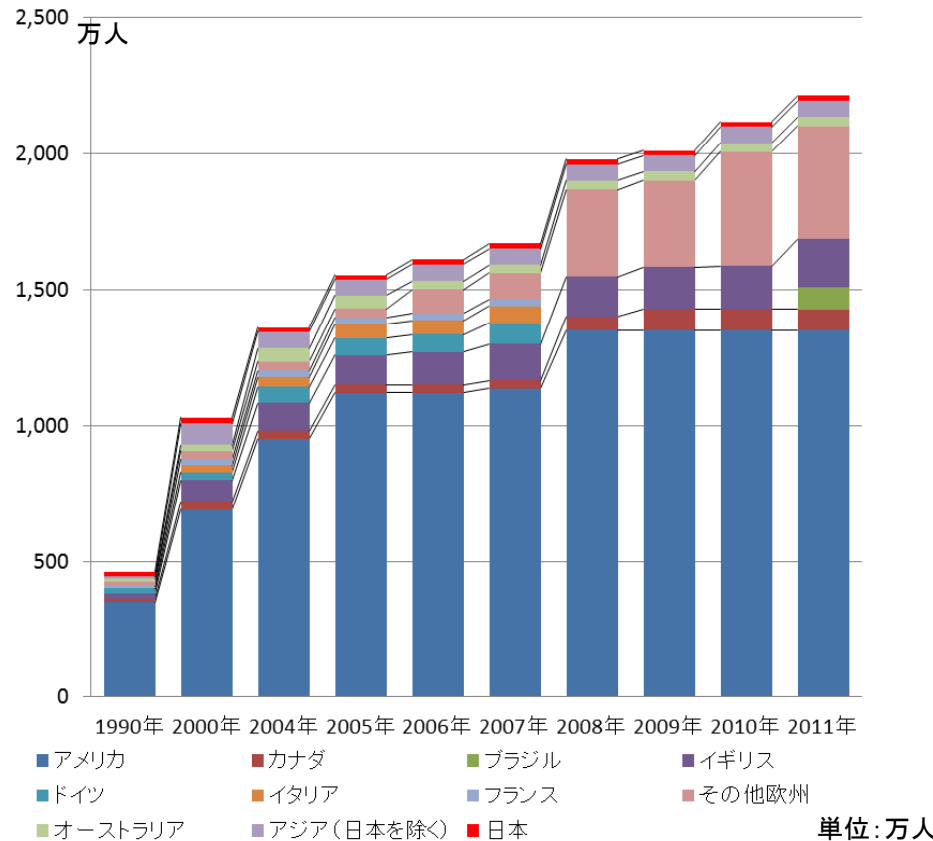
※ ③「乗船率」は、【 実際に乗船した(と仮定する)乗客数 / 乗船することが可能な最大乗客数(1部屋あたり2人で計算) 】として計算。

※ ④「1泊あたり中間料金」は「1泊あたり最大料金」と「1泊あたり最小料金」の平均とした。

## 2.【参考】世界のクルーズ人口

- 世界のクルーズ人口は現在、約2,212万人であり、その大半はアメリカ。
- 我が国における外国船籍の外航クルーズ乗客数は増加の一途。日本船籍の外航クルーズの約5倍。

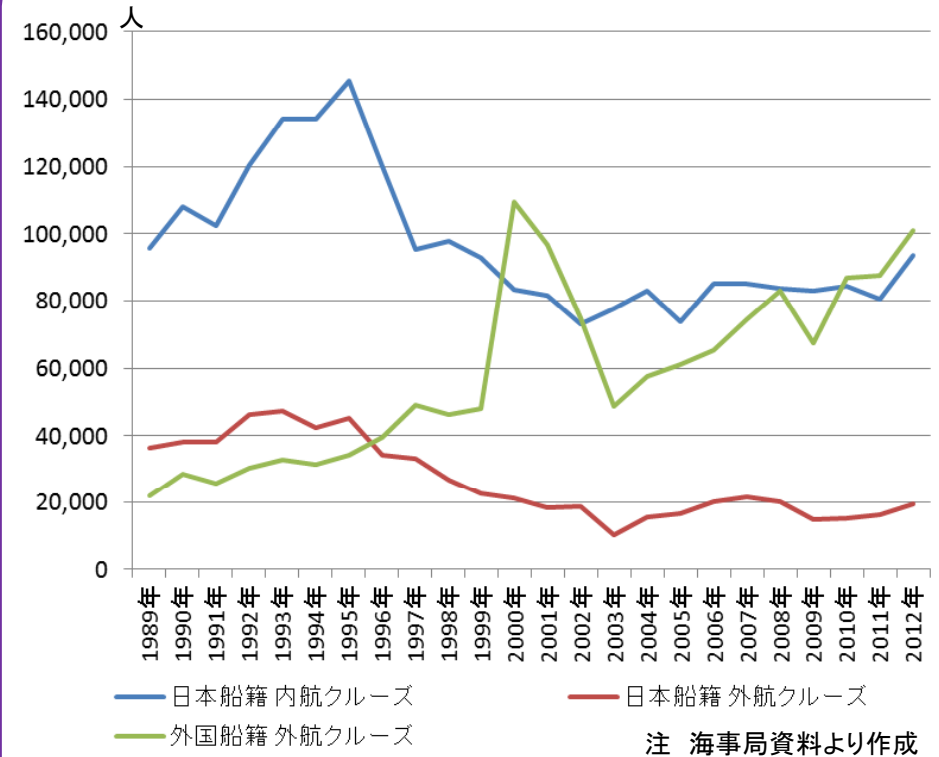
### 世界のクルーズ人口



	1990年	2000年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
日本	18	22	16	16	18	18	19	17	19	19
合計	463	1,030	1,360	1,554	1,609	1,669	1,977	2,009	2,116	2,212

注1: DOUGLAS WARD「Cruising & Cruise Ships 2013」より引用  
 2: 日本の数字は国土交通省海事局調べ (人数の単位は「万人」)

### 外航・国内クルーズ乗客数の推移



#### 2012年クルーズ乗客数(実績) (海事局資料より)

内航クルーズ(日本船籍)	93,600人
外航クルーズ(日本船籍)	19,300人
外航クルーズ(外航船籍)	101,000人

※留意事項※  
 外航船籍と日本船籍(外航)では、日本沿岸に寄港する泊数が異なる。

### 3. 国民アンケート調査

- 2014年1月に、一般国民を対象としたインターネットアンケート調査「『海洋観光』の実態と今後に関するアンケート調査」を実施。
- アンケート調査は合計1,200サンプル実施しており、地域別(大都市圏※とそれ以外の地域)、年代別(年齢3区分)、性別に対して均等になるように実施。

#### アンケート調査概要

##### ○アンケート対象

一般国民(インターネットアンケートモニター)を対象に1,200サンプル実施(対象の詳細区分は右表参照)。

##### ○実施期間

2014年1月25日～26日

##### ○主な質問内容

- ・最近三年間の海洋観光に関する活動内容と参加回数。
- ・海洋観光という言葉からイメージする観光内容や海洋観光の魅力。
- ・海洋観光を楽しむにあたって必要と考える施策の内容。
- ・上記の必要な施策が十分に行われた場合、海洋観光への参加意欲の増加可能性。
- ・クルーズの振興に必要と考える施策の内容。

サンプル数の構成(計1,200サンプル)

年代別 地域別	年代別		
	～30歳	31～59歳	60歳～
大都市圏※	男性:100 女性:100	男性:100 女性:100	男性:100 女性:100
それ以外	男性:100 女性:100	男性:100 女性:100	男性:100 女性:100

##### ※大都市圏

東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)  
名古屋圏(岐阜県、愛知県、三重県)  
大阪圏(京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)

### 3. 国民アンケート調査結果

- 海洋観光という言葉からイメージする観光内容についてアンケートを行ったところ、1位が「クルーズ」、2位が「マリンスポーツ」、3位が「海洋生物と触れ合う」、であった。
- 海洋観光の魅力についてのアンケートを行ったところ、1位が「自然(雄大な海、景観)」、2位が「非日常体験」、3位が「のんびり・ゆったり過ごす」、であった。

海洋観光のイメージ及び魅力に関する回答内容

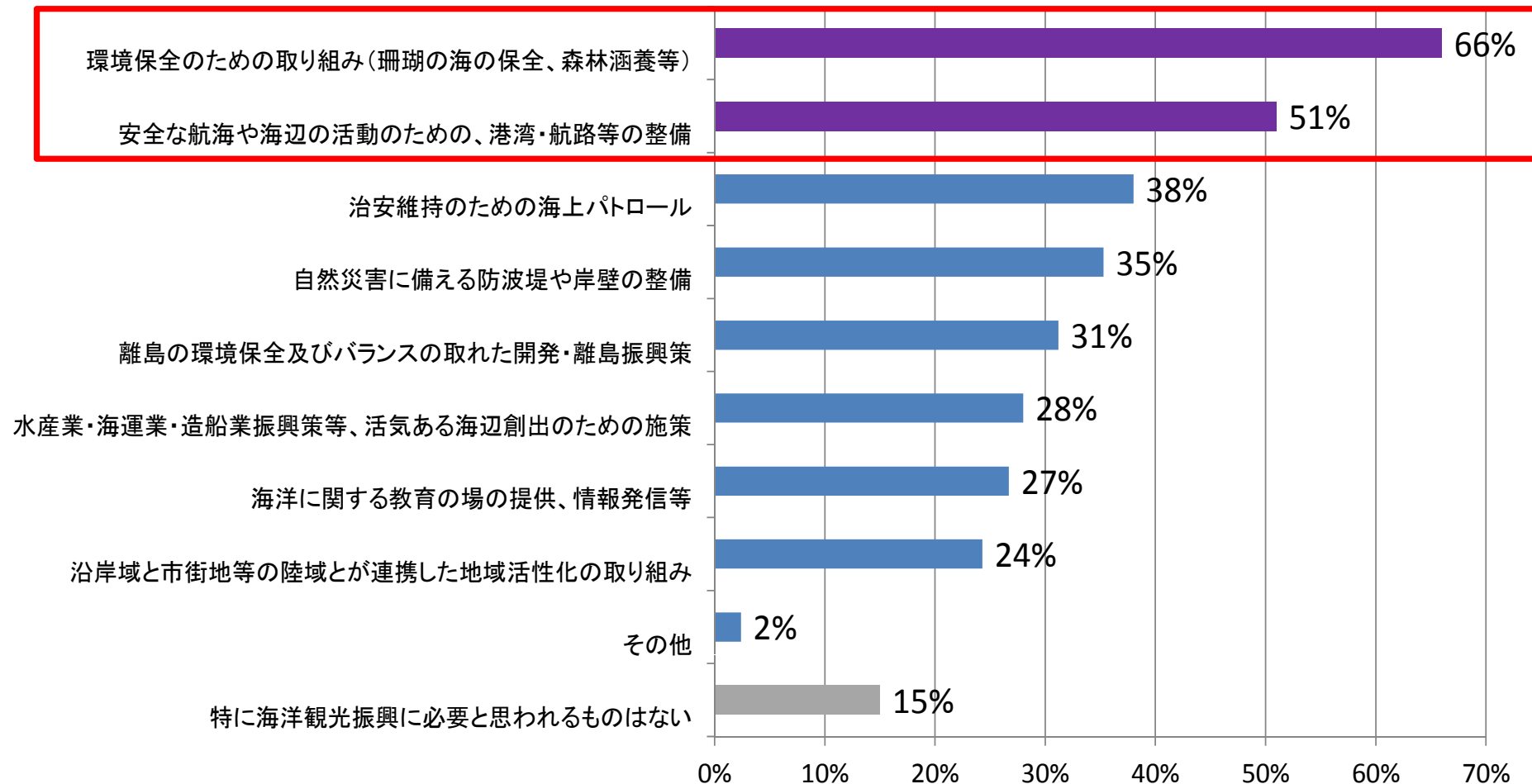
	海洋観光のイメージ(自由記述回答)		海洋観光の魅力(自由記述回答)	
1位	クルーズ	405人	自然(雄大な海、景観)	454人
2位	マリンスポーツ	128人	非日常体験	133人
3位	海洋生物(クジラ、イルカ等)と触れ合う	121人	のんびり・ゆったり過ごす	76人
4位	景色を楽しむ	61人	海洋生物(クジラ、イルカ、魚等)	71人
5位	食を楽しむ	41人	クルーズ	43人



### 3. 国民アンケート調査結果

○海洋観光を楽しむために必要な施策についてアンケートを行ったところ、「環境保全のための取り組み」と「安全な航海や海辺の活動のための港湾・航路等の整備」が過半数を占めた。

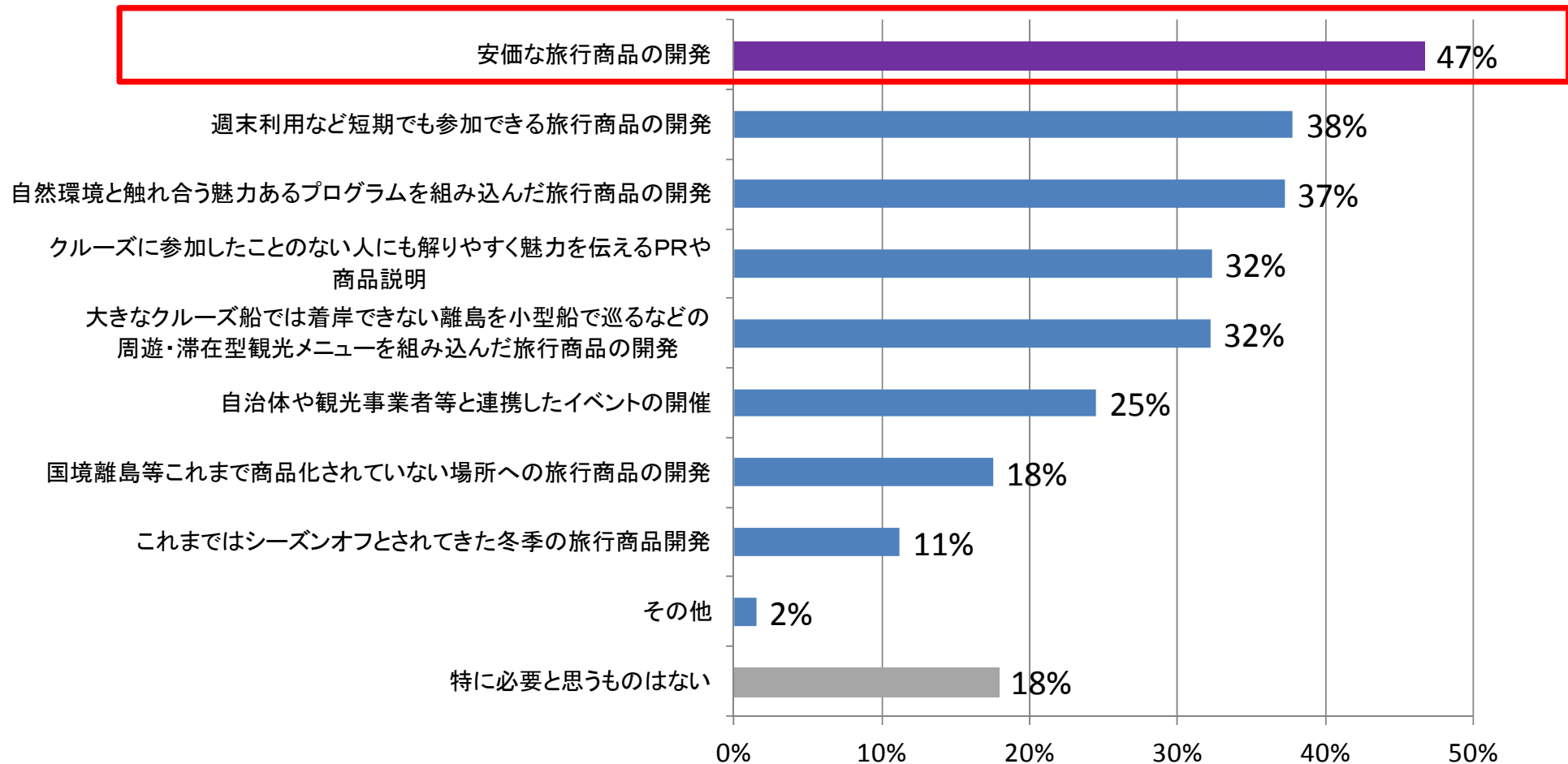
海洋観光を楽しむために必要と思われる施策（複数回答可）



### 3. 国民アンケート調査結果

〇クルーズ振興に必要な施策についてアンケートを行ったところ、「安価な旅行商品の開発」が最も回答数が多かった。

クルーズ振興に必要と思われる施策(複数回答)



### 3. 国民アンケート調査結果

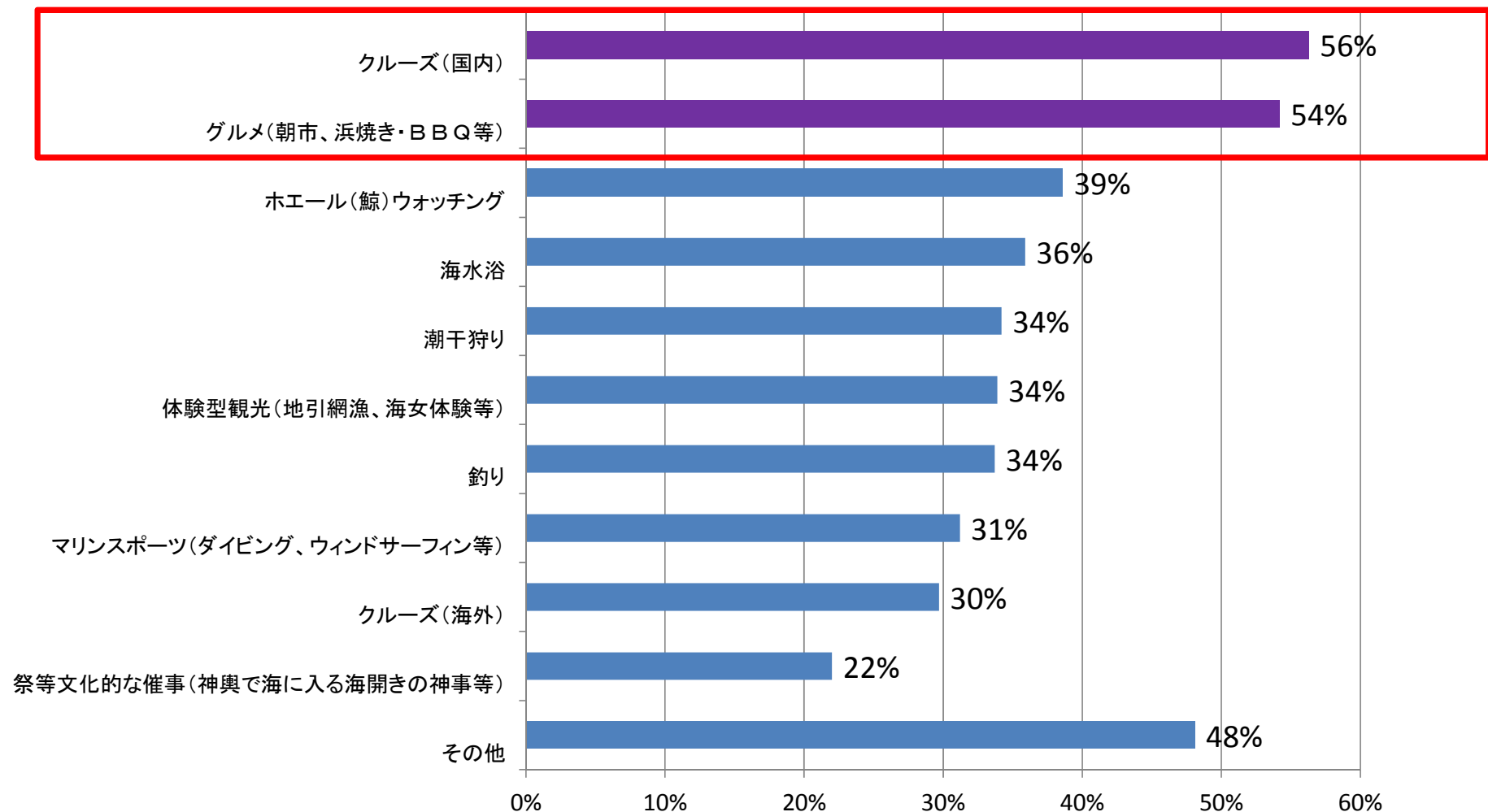
○海洋観光を楽しむにあたって必要と考える施策の内容や、クルーズの振興に必要と思われる施策に関する自由記述回答として、「海洋環境の保全」や「安全対策」等、多様な意見が得られた。

海洋観光を楽しむために必要と思われる施策 (自由記述回答より一部抜粋)	クルーズ振興に必要と思われる施策 (自由記述回答より一部抜粋)
<p>○海洋環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海洋生物、特に亀などの生態を観察できるような施策、また彼らを保護するような施設の完備。</li><li>・海洋資源枯渇を防ぐための取組。例えば稚魚や稚貝の放流。</li><li>・海外のように自然の入り江をそのまま利用した、自然体系の保存こそ天然のままの手を加えない雄大で美しい海洋観光が楽しめると思う。</li></ul> <p>○安全・保安</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最低限の安全を施していれば、後は自己責任。子供は別。</li><li>・沿岸の治安維持。</li></ul> <p>○インフラ・施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海辺まで行きやすい電車等の整備。</li><li>・観光施設。</li><li>・奇抜なデザインの建造物や利便性を優先しすぎたものは止めるべき。落ちついた雰囲気を楽しみたい。</li></ul> <p>○産業・地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・持続可能な漁業。</li><li>・地域住民サイドで考えてほしい。</li></ul> <p>○教育</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・砂浜や海などにゴミが多い残念なところがあります。教育を徹底してほしい。</li><li>・観光という前に、海の恵みが大きい日本では身近なものとして扱うべき。</li></ul>	<p>○海洋環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・離島などで、都市部と同じような利便性を求めたりしない。最新設備のホテル棟の建設は無用。立ち入る観光客の制限等設ける。</li><li>・自然環境を破壊しない商品の開発。</li><li>・周辺環境や生態系になるべく負荷をかけないこと。</li></ul> <p>○安全・保安</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海外に関しては、身の安全の保障。</li><li>・安全対策。</li></ul> <p>○商品・技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・揺れない船。</li><li>・お土産を付けてほしい。クルーズだけでは魅力に乏しいので。</li><li>・アニメ等とのコラボ。</li><li>・離島での体験生活ができるとう嬉しい</li><li>・海と温泉(海岸線にある)が両立する場所のアピール。 (夏季以外も海に行ける)</li></ul> <p>○社会制度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長期休暇制度の充実。</li></ul>

### 3. 国民アンケート調査結果

○海洋観光の振興に必要と思われる施策が十分に行われた場合、「国内クルーズ」と「朝市・浜焼き・BBQ等のグルメ」については、年間の参加回数が増加するとの回答が過半数であった。

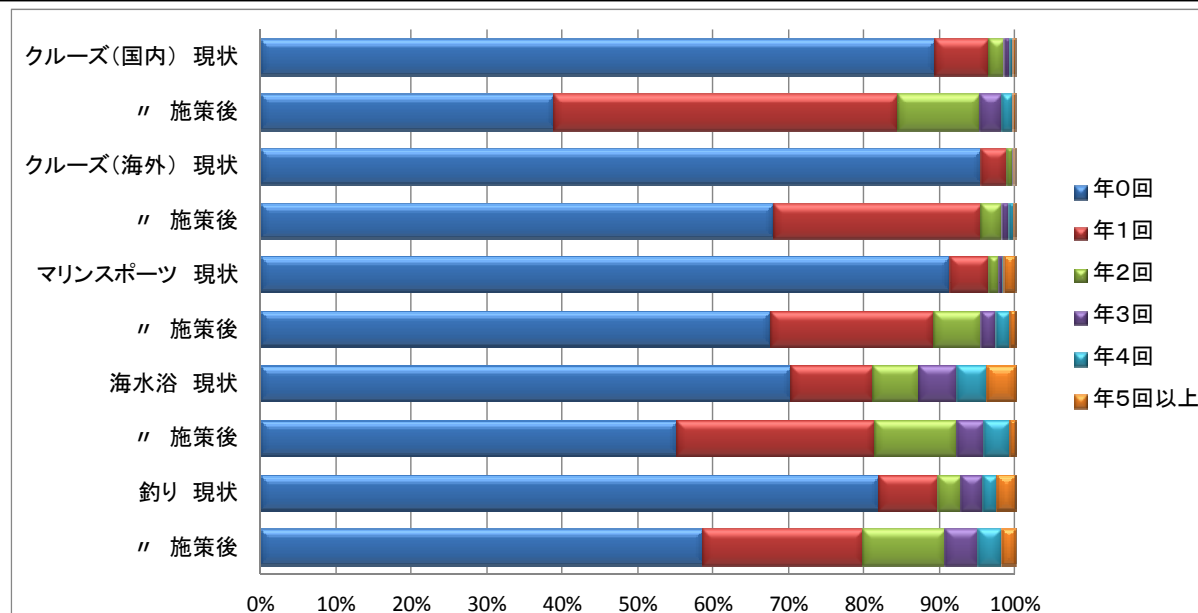
海洋観光振興に必要な各種施策の実施により海洋観光の年間参加回数が増加すると回答した比率



### 3. 国民アンケート調査結果

○海洋観光の振興に必要な施策が十分に行われた場合の、各海洋観光の参加回数の増加をアンケート調査した。選択肢として示した全ての海洋観光メニューについて、「年1回参加」との回答割合が大きく増加したことから、海洋観光の需要掘り起こしが期待される。

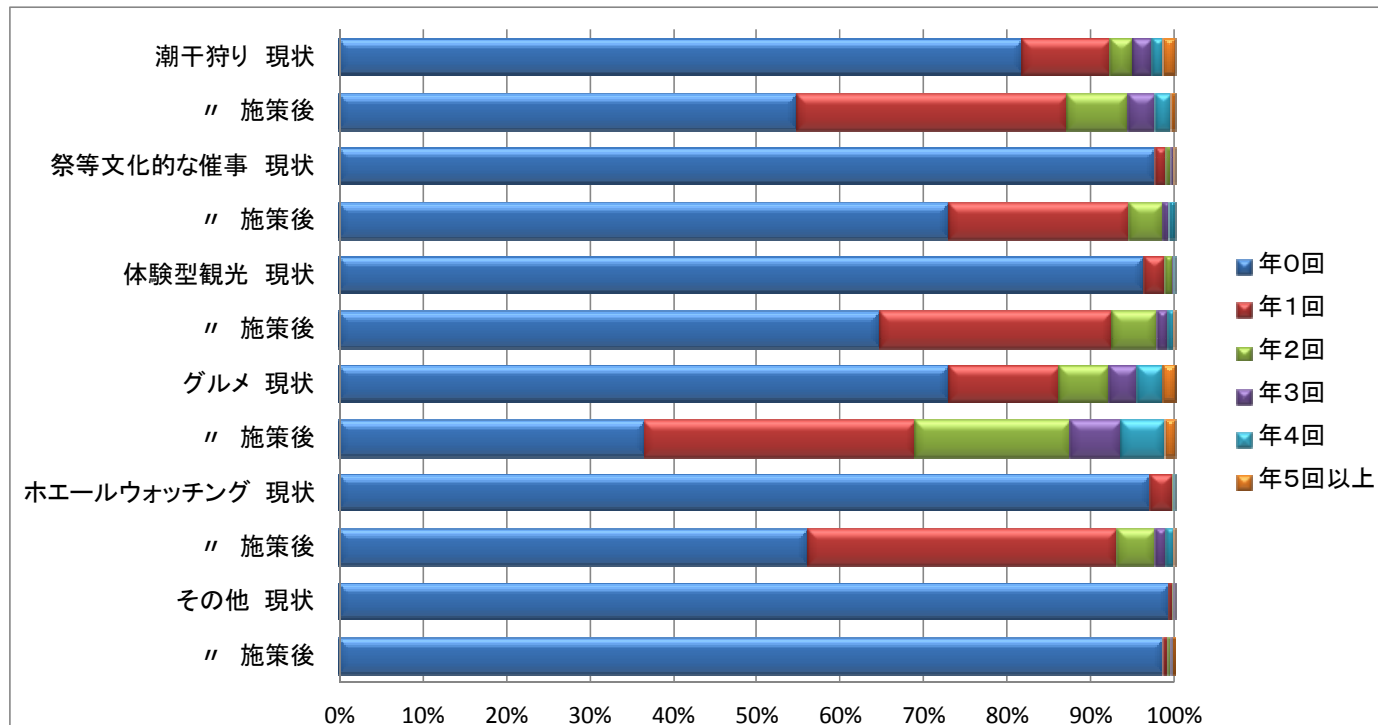
海洋観光の年間参加回数の回答者割合比較【現状と海洋観光振興に必要な各種施策実施後】(1/2)



	回答者数の割合(%) (回答合計は1200回答)						計
	年0回	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	
クルーズ(国内) 現状	89.3	7.0	2.3	0.7	0.4	0.3	100
〃 施策後	38.8	45.6	10.8	2.9	1.6	0.3	100
クルーズ(海外) 現状	95.4	3.4	0.8	0.1	0.2	0.1	100
〃 施策後	68.1	27.3	2.8	0.8	0.8	0.3	100
マリンスポーツ 現状	91.3	5.1	1.4	0.6	0.3	1.4	100
〃 施策後	67.7	21.5	6.3	1.8	1.8	0.8	100
海水浴 現状	70.3	10.8	6.2	5.0	4.0	3.8	100
〃 施策後	55.3	26.2	10.8	3.6	3.3	0.8	100
釣り 現状	81.8	7.9	3.1	2.8	1.9	2.4	100
〃 施策後	58.7	21.1	11.0	4.3	3.1	1.8	100

# 3. 国民アンケート調査結果

海洋観光の年間参加回数の回答者割合比較 【現状と海洋観光振興に必要な各種施策実施後】 (2/2)



	回答者数の割合(%) (回答合計は1200回答)						
	年0回	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回以上	計
潮干狩り 現状	81.8	10.6	2.6	2.4	1.3	1.3	100
〃 施策後	54.8	32.3	7.4	3.3	1.8	0.5	100
祭等文化的な催事 現状	97.7	1.3	0.6	0.3	0.1	0.1	100
〃 施策後	68.1	27.3	2.8	0.8	0.8	0.3	100
体験型観光 現状	96.3	2.4	0.9	0.3	0.1	0.0	100
〃 施策後	64.8	27.8	5.3	1.3	0.8	0.1	100
グルメ 現状	72.8	13.3	6.1	3.3	3.0	1.5	100
〃 施策後	36.4	32.5	18.5	6.2	5.3	1.2	100
ホエールウォッチング 現状	97.0	2.7	0.2	0.1	0.1	0.0	100
〃 施策後	56.1	37.1	4.5	1.3	1.0	0.1	100
その他 現状	99.3	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	100
〃 施策後	98.7	0.5	0.4	0.2	0.0	0.3	100